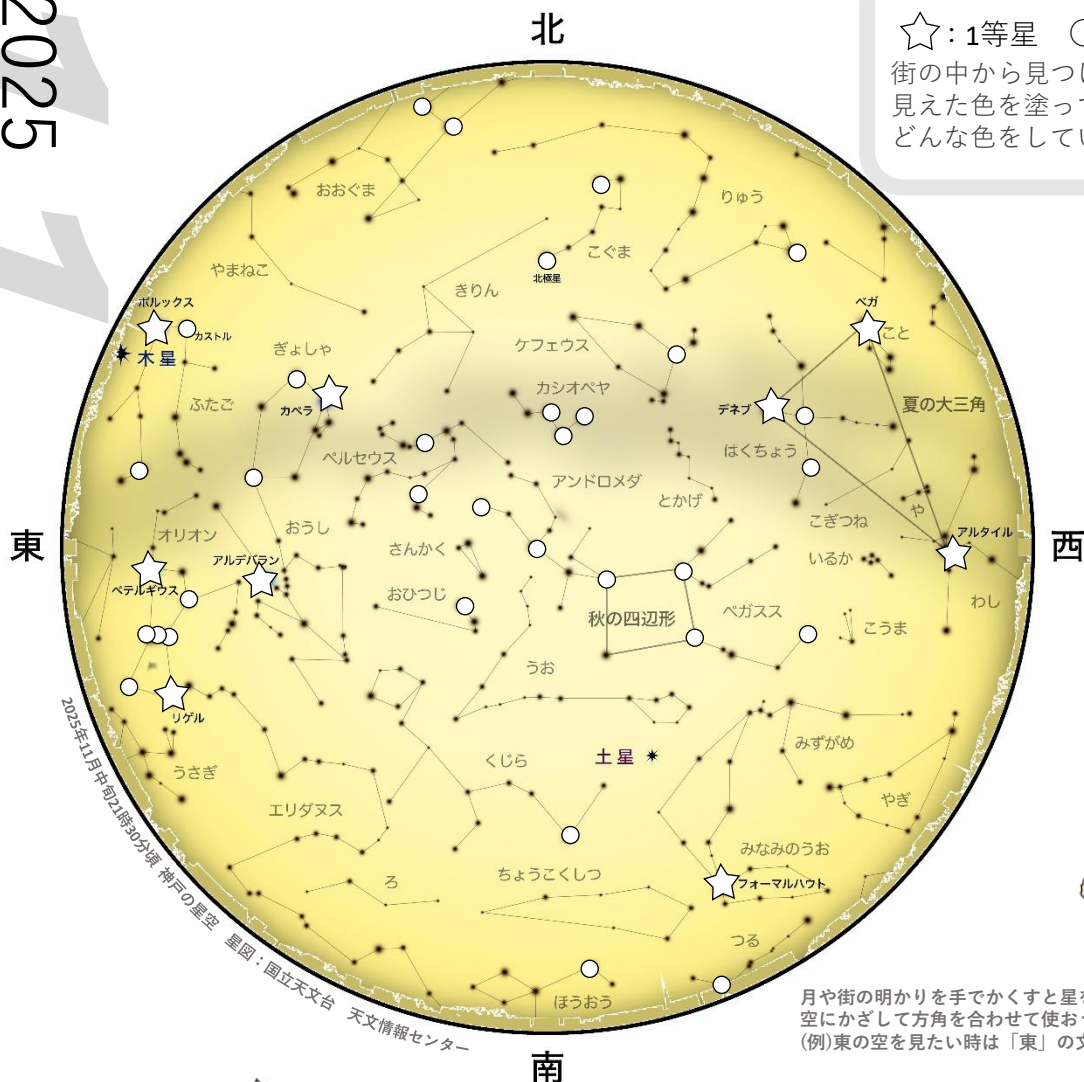




月や街の明かりを手でかくすと星を見つけやすい！
空にかざして方角を合わせて使おう！
(例)東の空を見たい時は「東」の文字を下に向ける

1	
2	
3	
4	
5	まんげつ 2025年で一番地球に近い満月
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	かげん 下弦の月
13	
14	
15	

スタッフのイチオシ星

あめ み 天の海に 雲の波立ち 月の舟 ふうね
星の林に 潜ぎ隠る見ゆ かく

これは日本最古の和歌集『万葉集』に収録されている歌です。
ポイントは、天を海に、雲を波に、月を舟に、星を林に、それぞれ例えてよまれていること。
夜空にかがやく月を見上げながら、まるで大海原をめぐっていく船のようだなあ…と想像したのでしょうか。
1000年以上前によまれた歌ですが、現代の私たちもその情景をありありと思い浮かべることができそうですね。なんだか夜空を通して昔の人の思いに触れられるような気がします。
読書の秋、芸術の秋…いつもとは違った視点で空を見つめてみるのはいかがでしょうか。



サイエンススタッフ かしはら

今夜の月をスケッチしよう！（月の満ち欠けの様子）



16	
17	
18	
19	
20	しんげつ 新月
21	
22	
23	
24	
25	
26	
27	
28	じょうげん 上弦の月
29	科学館の観望会 星空ウォッチング
30	